仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
フーフでナムナム
☎〇四六七（22）七六七六

5月1日号
2020年（令和2年）
第494号
毎月1日発行
（一部税込110円）
朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com
鎌倉朝日
© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町２丁目８番１３号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

西本願寺本萬葉集を寄贈
鎌倉仙覚文庫で展示予定

現存する万葉集のうち全巻を完備する最古の写本である『西本願寺本萬葉集』20冊（鎌倉時代後期写）（覆製）が3月末に鎌倉市に寄贈された。

市と学術分野での包括連携協定を締結した青山学院大学小松靖彦教授の仲介で、出版社の元株式会社「おうふう」の坂倉良一社長から贈られたもの。市では、市制80周年事業の一環で昨年、市中央図書館に開設した「鎌倉仙覚文庫」の重要資料として展示紹介する予定。

寄贈された『西本願寺本萬葉集』（覆製）

1冊の大きさはタテ321ミリヨコ248ミリで、表紙に特漉近江雁皮紙、本文には特漉越前鳥の子紙が使われている。多色オフセット印刷、大和綴で製本されて、特上総桐箱（幅287ミリ×奥行365ミリ×高さ400ミリ）の引き出し5段に4巻ずつ納められている。

この覆製は、1984年（昭和59）5月に主婦の友社が、当時の高度な印刷技術により墨色、朱色、紺青色を装丁とともに正確に再現して150部限定で刊行した。当時の販売価格は150万円だったという。

『西本願寺本萬葉集』は鎌倉時代後期の1266年に学僧・仙覚が完成させた『仙覚文永三年本萬葉集』の書写本。全20巻からなる現在確認できる最古の完本写本。仙覚と親交のあった北条実時が完成後間もなく書写したものを、さらに書写したものと考えられている。

鎌倉幕府滅亡後に足利義満が北条実時創建の称名寺に使者を遣わし貴重な書籍を収集した折に入手し、後年皇室に献上したもの。名称は、後奈良天皇が本願寺第10世の証如に下賜して西本願寺の蔵書となったことから、佐佐木信綱が命名した。1913年（大正2）借財整理のため本願寺が同書を放出した後、1917年（大正6）に佐佐木信綱が入手した。

のちに信綱の蔵書約2千冊の万葉集関係の資料は、1944年（昭和19）に主婦の友社創業者石川武美氏が一括購入され、石川武美記念図書館（東京・神田駿河台）に所蔵されている。

万葉集には鎌倉の関連歌が数首あり、市内大町の妙本寺の石碑（昭和5年、鎌倉青年団が建立）に、仙覚が相州鎌倉比企谷新釈迦堂で万葉集研究の偉業を遂げたことが記されている。また、近代万葉集研究の礎を築いた歌人で研究者の佐佐木信綱は、1921年（大正10）、鎌倉市大町に「朔川草堂」を設け執筆の場とし門下生を育てながら鎌倉の文人と交流した。

市では、こうした万葉集とのゆかりを踏まえ、その後の「古今和歌集」「源氏物語」研究の系譜を継承することを目指して昨年11月、市中央図書館内に「鎌倉仙覚文庫」を設立した。

万葉集研究の偉業を遂げた仙覚を顕彰する石碑＝鎌倉・妙本寺

針磨橋の案内板を新設
由来伝える石碑の写真入り

鎌倉市極楽寺の針磨橋（はりすりはし）の石碑のあった場所に3月末、鎌倉市が新しい案内板を設置した。

鎌倉市内には、その地名の由来や史跡について刻み込まれた石碑が80基ほどあるが、これは大正から昭和にかけて当時活躍した鎌倉町青年会、後の鎌倉町青年団などが建立したもの。

民有地の中に建っているものも多く、この針磨橋前の石碑もその一つ。昨年5月末、「家の建て替えのため石碑を撤去したいが」と土地所有者が鎌倉市に相談したが、当時、担当部署が明確でなかったため、適切な回答が得られないままに石碑は撤去されてしまった。

碑がなくなったことを残念に思った土地所有者と極楽寺自治会・自栄会が、市に碑の再建を要請。昨年からの話し合いの結果、案内板の建立が実現した。

案内板は、横59・2ヂ、高さ164ヂのスチール製で、市の観光課が、板面の内容を同自治会や文化財課に相談し、橋の名前の由来とこの場所に鎌倉青年団の建てた石碑があったことを記し、石碑の写真を鎌倉市中央図書館から提供をうけて入れた。

鎌倉市教育委員会文化財部の桝渕規彰部長は、「指定文化財になっていない民有地内の物件の維持管理は所有者にまかせている。しかし、鎌倉の石碑は歴史的な場所を顕彰した行為を示す広い意味での文化財で、鎌倉の近代史を語る上で材料になる。地域で守っていくことも大切だし、将来的に市が近代以降の文化財を整備していくことも大切だと思う」と述べ、「今後、このような件は、文化財課が窓口になって対応する」と明言している。

3月にできた針磨橋の案内板

針磨橋の石碑＝1928年（昭和3）鎌倉町青年団建立

◆編集室から　鎌倉朝日は、新型ウイルス感染拡大対策の緊急事態宣言発令に伴う施設の休館やイベントの自粛などで活動が制限され、5月号を4ページで発行しています。連載は一部を除きお休みしました。

読者の皆様、協力いただいている広告主や販売店の皆様におわび申し上げるとともに、この危機を乗り越えていけるよう尽力します。今後ともご愛読よろしくお願いいたします。

鎌倉の年中行事　5月

▼菖蒲祭　5日13時、鶴岡八幡宮。無病息災など祈願。

▼草鹿（くさじし）神事（5日13時、鎌倉宮）中止

▼秋葉山大例祭　17日11時、材木座の光明寺。

▼徳崇大権現会　22日13時、小町の宝戒寺。北条一族の慰霊供養。

▼白旗神社例祭　28日10時、鶴岡八幡宮境内の白旗神社。

▼茶筅供養（28日建長寺茶筅塚）中止

プロムナード

夏の季語であるはずの閑古鳥ですが、春なのに鎌倉に限らず、世界中で閑古鳥が鳴いている状況です▼緊急事態宣言の発令に伴い、いよいよ多くの人がテレワークに移行し、外出自粛という対応になっています▼インターネットの普及によって世界中の人々との会話が可能になり、世界と繋がっていると感じられる機会が増えていました▼しかし、今回の新型コロナウイルスを通じて、アナログでも世界とは確実に繋がっているのだと改めて気がつきました▼気持ちが塞がり気味になりやすい状況が続いていますが、自宅で過ごす時間が増えたということを前向きに捉えて、みなさまにとって素敵な充電期間となればよいと願っております。（N）

鎌倉石屋
極花 はんべん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

好評販売中
鎌倉産たこ使用

株式会社 大森商店
o.m.s.souvenir.works
☎0467-22-2626
http://www.e-omori.com/

日刊スポーツから皆さまへお願い
読者モニターとして紙面づくりにご協力いただける方を探しています
6月1ヵ月間無料で日刊スポーツをお届けします。
アンケートにお答えください

★お申込みはこちらから
▼スマホ・タブレットからお申込み
モニターになられた方に1カ月間日刊スポーツを無料でご覧いただきます
後日お送りする回答用URLにアクセスいただき質問にお答えください
アンケートにお答えいただいた方には、粗品を進呈いたします。
※アンケート・粗品は配達を担当するASA（朝日新聞販売所）が応対します
締め切り：5/20

住み慣れた鎌倉の地で、安心して暮らしてみませんか？
年金で暮らせます

軽費老人ホーム
鎌倉静養館
鎌倉市稲村ガ崎 3-13-53　江ノ電 稲村ガ崎駅より徒歩8分
■入居のお問い合わせは☎0467(22)3245